

## 書類作成上の注意事項

### 1. 履歴書

学歴は、高等学校卒業時以降について記載して下さい。

### 2. 業績目録

(1) 平成26年11月30日までに受理・掲載されたものを記載して下さい。

なお、印刷中の論文については、掲載受理の証明書を添付して下さい。

(2) 業績区分は、著書、原著（和文）、原著（英文）、総説（和文）、総説（英文）、学会発表（国内）、学会発表（国際）の順に別葉とし、新しいものから発表年代順に下記の要領で記載して下さい。

著書…著者名、書名（題目）、初頁～終頁、発行所、西暦年。

原著…著者名、題目、発表誌名、巻、初頁～終頁、西暦年。

総説…著者名、題目、発表誌名、巻、初頁～終頁、西暦年。

その他…著者名、題目、発表誌名、巻、初頁～終頁、西暦年。

学会発表(国内)…発表者名、演題名、学会名、西暦年。

学会発表(国際)…発表者名、演題名、学会名（開催国）、西暦年。

知的財産（特許等）

(3) 著者名、発表者名は掲載順に記入し、応募者名にアンダーラインを引いて下さい。

(4) 著書は、単著、共著、編著、訳著、分担執筆に分け記載して下さい。

(5) 原著は、査読制度のある雑誌に掲載された論文に限ります。

(6) その他には、プロシーディングを含めて記載して下さい。

(7) インパクトファクター（IF）がある論文については、記載例にならって2013年のインパクトファクターをもとに末尾に記載してください。

また、応募者が corresponding author または equal contributor と記載されている場合は、その旨を明記して下さい。

(8) 学会発表（国内）は、全国レベルについて、特別講演、教育講演、シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップに分類し、この順で記載して下さい。

(9) 学会発表（国際）は、特別講演、教育講演、シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ、一般演題に分類し、この順で記載して下さい。

(10) 原著、総説、その他の中から、主要論文10編に○印を、この内、特に重要な論文5編に◎印を付けて下さい。

(11) 主要論文10編について、論文別冊（コピー可）を各10部送付願います。

### 3. 研究費の獲得状況（文部科学省科学研究費等）

官民財団等から受けたものを文部科学省、その他の省庁及び民間財団ごとに新しいものから年代順に記載して下さい。

4. 教育に関する実績では、教育に関する具体的な内容・実績や研修会の参加実績等を簡条書きで記載して下さい。

5. 作成にあたっては、様式はホームページから入手し、ワードプロセッサでお願いします。

なお、全ての内容が表示されるように注意して印刷して下さい。

業績目録記載例（著者名，発表者名を一部改変）

原著（英文）

- 1 Yamaguchi T, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○.

RPA assists HSF1 access to nucleosomal DNA by recruiting histone chaperone FACT.

Mol. Cell 48, 182-194, 2012. (IF 14.464)

（一行余白）

2

総説（和文）

- 1 山口太郎, ○○○○, ○○○○

熱ショック因子によるプロテオスタシス制御と疾患

細胞工学 33, 706-710, 2014.

学会発表（国内）

教育講演

- 1 山口太郎

熱ショック応答とがん

第 71 回日本癌学会総会，札幌市，2012.

学会発表（国際）

シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ

- 1 Yamaguchi T, ○○○○○.

A new mechanism of mammalian HSF1-mediated chromatin opening.

Gordon Research Conference on “Stress Proteins in Growth, Development & Disease”,

Lucca, Italy, 2011. (Invited speaker)